

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：母子福祉費

事業名【新】ひとり親家庭等応援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 子ども家庭課 子ども支援係 電話番号：058-272-1111(内3554)
 E-mail : c11217@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 121,830 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	121,830	0	0	0	0	0	0	121,830
決定額								

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

ひとり親家庭等の多くが生活費に悩みを抱えており、特に、母子家庭においては年間就労収入が200万円未満の世帯割合が半数近くに及ぶなど、依然としてきめ細かい就労支援などが必要になっている。

昨今のエネルギー・食料品価格等の物価高騰はこうしたひとり親家庭の生計に大きな影響を与えており、米が高くて買えないという多くの声があがっている。

このため、低所得のひとり親家庭を対象に緊急的な生活支援として、主食であるお米を提供する。

(2) 事業内容

県内全市町村の児童扶養手当受給世帯を対象に岐阜県産のお米を提供する。

- ・世帯数：10,500世帯 (R7.3末 児童扶養手当受給世帯：10,418世帯)
- ・支援物品：米10kg (岐阜県産米)
- ・実施方法：手当受給世帯からのオンライン申請による

(3) 県負担・補助率の考え方
国10/10（重点支援地方交付金）

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	120,348	民間業者委託（県産米の調達+各家庭への配送）
需用費	202	消耗品費
役務費	1,155	案内文郵送料
負担金	125	市事務負担金
合計	121,830	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ
無

(2) 国・他県の状況

【国の状況】

令和7年度補正予算において、重点支援地方交付金が計上され、推奨事業メニューとして、「物価高騰に伴う子育て世帯支援」が提示された。

【他県の状況】令和7年度11月1日時点の重点支援地方交付金活用状況

- ・山形県
　県内全市町村の児童扶養手当受給世帯を対象に1世帯あたり県産米10kgを提供
- ・滋賀県
　県内全市町村の児童扶養手当受給世帯を対象に手当対象児童1名につき県産米2kgを提供

(3) 後年度の財政負担
なし

(4) 事業主体及びその妥当性

物価高騰によるひとり親家庭に対する緊急支援のため、県が事業主体として実施することは妥当。

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

■ 新規要求事業

□ 繼続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

児童扶養手当受給世帯にお米10kgを提供し、物価高騰の影響を大きく受ける低所得のひとり親家庭の生活を緊急支援する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

物価高騰による緊急支援のため、指標の設定はなじまない。

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標 : _____ 実績 : _____ 達成率 : _____ %
令和 5 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標 : _____ 実績 : _____ 達成率 : _____ %
令和 6 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標 : _____ 実績 : _____ 達成率 : _____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	低所得のひとり親家庭においては、物価高騰の影響を大きく受けており、緊急支援の必要性が認められる。
-----------	--

- ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価)	
------	--

- ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)	
------	--

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

--

(次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	 【〇〇課】
--	-----------